



# 外国人観光客に酒田を楽しんでもらおう

小林慶太郎、渡部敦大、井上裕喬、堀諒平

## 背景・目的

現地の人と観光客の人で主な観光地の認識がズレているのではないかと感じた。

外国人観光客に酒田の魅力を知ってもらい、もう一度来てもらう。(リピーターを増やす)

自分たちも調べる過程で酒田の魅力を理解したい。

## すでに分かっていること

- ・酒田には年数回クルーズ船が来航する
- ・クルーズ船のオプションルツアーがある
- ・市や県がインバウンドを推し進めている

## 仮説

私達の暮らしている中での酒田の魅力と外国人が体験したいと思っている事(酒田の魅力)の乖離を見つけ、外国人観光客のニーズに合ったプランを提案することでリピーターが増えるのではないか。

## 研究の方法

- ・市役所にクルーズ船客のツアー場所を聞く
- ・聞き出した場所に行き、お店の店員にインタビューをする
- ・クルーズ船客にアンケートを取る
- ・台湾人に写真を用いたアンケートを取る
- ・外国人の興味にあったプランの提案をする

## 参考文献

産業・観光：酒田市公式ウェブサイトURL<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/index.html> 9月6日

## 謝辞

東京都市大学 教授 佐藤真久 東京都市大学 教授 古川柳蔵

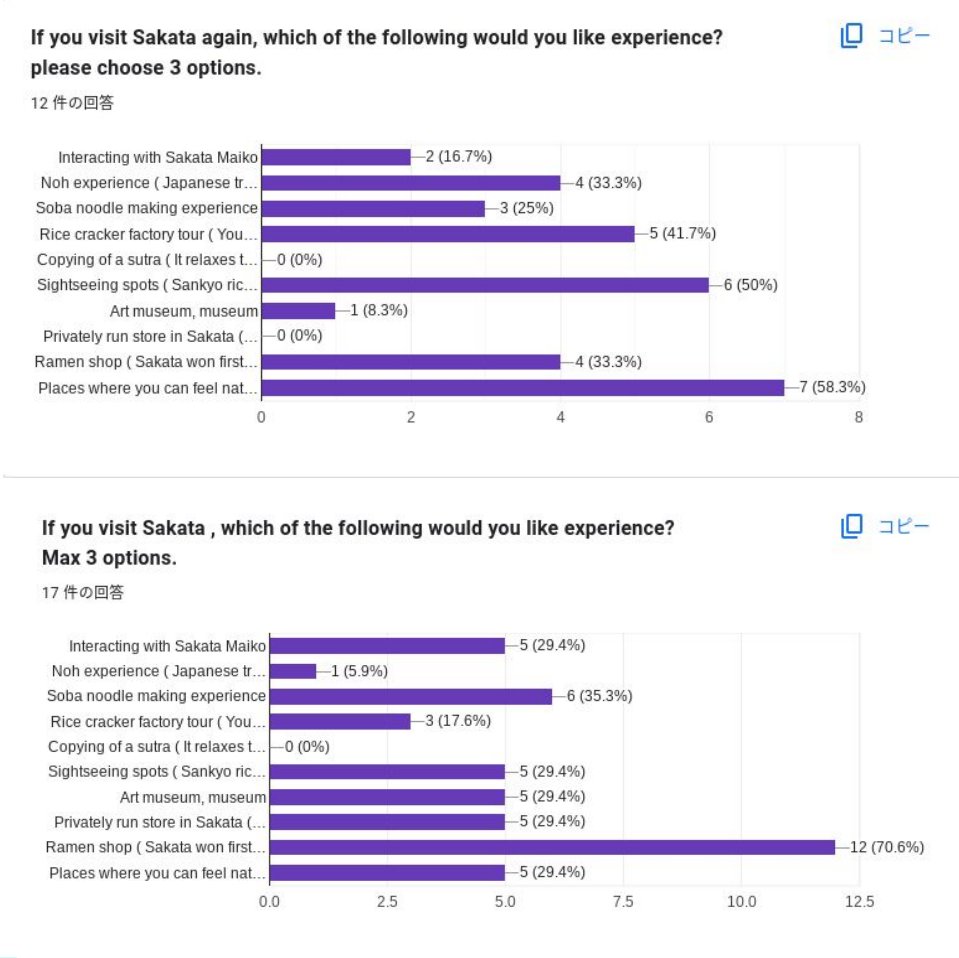
東日本旅客鉄道株式会社 高安英子 酒田市役所交流観光課 渡辺さん

山形県観光文化スポーツ部観光復活推進課インバウンド推進室 遠藤雄太

## 結果

### クルーズ船観光客

### 台湾の高校生



## 結論

- ・乖離がなかった部分があったが、乖離が見られる部分もあった
- ・ラーメンと食文化の体験が好まれる傾向にあった

## 考察

- ・母数が少なかったので乖離があるとは断言できない
- ・ラーメンや食文化の体験はツアーのコースに取り入れるのが良いのではないか

## 今後の展望

- ・4月のクルーズ船来航時に、今回使用したアンケートと同じ内容で再び実施する
- ・住んでいる地域、年齢、性別で訪れたいと思う場所にどのような違いが生まれるかについて調べる